

合志市人権フェスティバル 人権啓発標語・ポスター募集

いじめや部落差別、高齢者に対する差別、障がい者に対する差別などさまざまな人権問題の解決や、人権尊重の社会づくりを訴える標語とポスターを募集します。

●応募対象 市民

●規格

①標語：規格はありません。

②ポスター：画用紙は、四つ切(542×382mm)または八つ切り(382×271mm)で、文字、画材などの表現方法は自由です。

●応募方法

郵送または直接提出

※裏面に住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、提出してください。標語は、メールでも応募できます。

●審査・表彰

人権フェスティバル実行委員会で開催する第8回人権フェスティバルで表彰し、記念品を贈呈します。

●その他

作品はそれぞれ1人1点で未発表の

ものに限ります。どちらかだけの応募もできます。標語は人権フェスティバル当日に、ステージに掲示します。ポスターは11月25日～12月15日までギャラリーに展示します。

●募集期限 10月4日(金)

●提出先

〒861-1104

合志市御代志1661-16

御代志市民センター内

合志市人権フェスティバル

実行委員会事務局

Eメール jinken@city.koshijp

●問い合わせ先

人権啓発教育課

(御代志市民センター)

☎(242)1190



昨年の受賞作品です



人権教育シリーズ 18

市では人権教育の推進のため、さまざまな活動や啓発に取り組んでいます。ここでは、取り組みの内容や情報を定期的にお知らせしていきます。

女性警察官、女性消防士、男性保育士。女性の溶接工、女性の生コンミキサー車運転手。いずれも市男女共同参画啓発情報誌「いっぽ」に登場した本市関係者です。

まさか「女のくせに、男のくせに」なんて言う人はいないでしょう。むしろ「いちいち『女性』『男性』と付ける必要はない」と直感的に感じていただけだと思います。そして、自分が女性だから・男性だからという理由であきらめたり逃げたりせず、真正面から立ち向かって努力を重ね、希望を叶えていただければ幸いです。

景気後退や人口減少・労働力減少などによる行き詰まりを打破するカギは、女性の活躍促進だと言われています。これは同時に、男性の家事・育児・介護を社会的に奨励することでもあります。「男女共同参画社会」は法律上「男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受す

ることができ、かつ、共に責任を担うべき社会」と堅い言葉で規定されていますが、要は「すべての人にとって生きやすい、働きやすい社会」のことで

本市では、一人ひとりの幸せに生きる権利を大切に、市民が協力し、支え合い、思いやりのあるまちづくりを進め、「男女共同参画社会」の実現を目指しています。

(総務課 総務・男女共同参画班)



「いっぽ」は年1回発行しています

素敵な人生 素敵なパートナー



市男女共同参画
推進懇話会委員
工藤 綾子

私は、母子保健推進員の代表として、今回初めて懇話会に参加しています。

母子保健推進員は、乳幼児健診や、お母さんたちが安心して妊娠・出産・育児ができるように身近な子育てサポーターとして活動しています。

私は、子育てに携わっている立場から、男女共同参画の実現には、男女が共にあらゆる分野に参加していくことが求められ、そのための環境を整える取り組みが必要だと思っています。

男性の育児参加を考えたとき、例えば長時間労働の問題、家事育児に対する考え方、固定的な意識からの脱却、地域参加の理解など、

多くのことが考えられます。

最近新聞で、ある会社の「男性の育児、全員取得」の記事が目にとまりました。内容は、男性社員全員に、一週間の育児休暇を取得させるということでした。各企業も男女共同参画の意味を理解し、努力されている様子がよく分かりました。

子どもたちの個性と能力が発揮できる大事な役割を担うパートナー・男性の育児参加が子どもたちの将来の鍵を握るとも言われています。男女が対等の立場で地域社会とつながり、社会全体で子育てを支えていく社会が広まってほしいと願っています。

よみ人こうし

須屋俳句会

村上正子選

重さうに軽さうに行く登山靴 正子
山見えぬ登山口前バス停まる 邦雄
葛饅頭つると喉を通りけり 規子
吹く風に田水の匂ふ夕涼み 美和子
あこがれのまに終わりぬ富士登山 美代子
ふとこころに願ひは深く富士登山 ルリ子
富士登山ヘッドライトの続きけり 嘉子
登山口険しき山を仰ぐのみ 千代子
虫干や袖も通さぬ形見分け 雅子
子のリュック鈴の音軽く登山道 由紀子
たんばのはじけそうな球になり 準子
日に風に翻しけり半夏生 頼美

若葉句会

西村泰三選

マネキンの木綿の白の涼しかり 浩子
讚美歌の流るる森の合歓の花 浩子
名月の千切れて揺るる安芸の海 ちず子
縄跳びの子等にまじりて秋たのし ちず子
親鸞に惹かれよみつぐ秋灯火 ミツ子

合志川柳同好会

安永理石整理

縄文の大賀蓮咲く古墳径 ミツ子
窯訪ふや水音澄める峡の道 ちづえ
一刻を残す終電夏の夜 千ヅエ
潮騒の轟く宿のはまおもと トヨ子
偲ぶ人多き浜辺や盆の月 むつ子
一服の郵便バイク片陰に 史朗
田水湧く風風ぐ昼の学校田 史朗
久し振り話すことから多過ぎて 千夜子
来た話蹴って親子でせめぎ合う 一郎
両隣り噂話に花が咲く 竹泉
悪いこと耳に栓して聞いたふり 伸也
内緒話見て来たような嘘ばかり 征二
もやもやも友に話すと晴れてくる 朝子
場違いで話す相手が見つからぬ 賢治
わが国を歩いて米中話し合う 翠石
問診もお国訛りの掛りつけ 遊心
話すのは止すよ離婚の深い訳 高德
ひとり言語す相手は膝の猫 輝子
同僚の瘦せた話に寄ってくる 理石